

## 研究の構想

本校の教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい久米っ子の育成  
～一人一人の笑顔が輝く学校～

- ・自ら学び、考えを伝え合う子ども
- ・共感し、思いやりをもって行動できる子ども
- ・心身を鍛え、粘り強くやり抜く子ども

### 【研究主題】

確かな学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成  
～一人一人の読む力と自分を表現する力を育むことを通して～

### めざす子どもの姿

- 一人一人が読む力を身に付け、自ら課題に取り組み、主体的に問題解決しようとする児童
- 集団で課題解決に向かう中で友達の意見を聞き、自分の考えや思いを自分の言葉で表現できる児童

#### <他の活動との関連>

- 日常的な指導
  - ・表現の場の設定
  - ・話の聞き方
  - ・発表の仕方
  - ・ペア・グループ学習
  - ・机上の整理
  - ・声のものさし
  - ・ふり返りの設定
- 言語環境
  - ・教師の言葉かけ
  - ・図書コーナー
  - ・掲示の工夫

### 仮説

国語科を中心とした授業や日常的な教育活動の中で、授業者が児童の実態を的確に把握して一人一人に寄り添い、読む力や表現する力を高めるための学びをコーディネートできれば、児童は確かな学力が身に付き、生き生きと学ぼうとする児童を育てることができるであろう。

#### <家庭・地域との連携・協働>

- 家庭学習の習慣化
  - ・課題の提示
  - ・自主学習
  - ・家庭音読
  - ・家庭学習のマネジメント
- 読み聞かせボランティアの活用
- 多様な他者との対話活動の設定
- 発表の場の設定

#### 視点1 読む力と自分を表現する力を育む授業づくりの工夫

- (1) 単元デザインの工夫
- (2) 主体的な学びとなる学習課題の工夫
- (3) 学びを深める学習展開の工夫
- (4) 振り返りの充実

#### 視点2 学びをスキルアップさせる工夫

- (1) 対話を高める「5ラインズ」の活用
- (2) 朝活動の充実(新聞デー、コグトレ)
- (3) 「マイ家庭学習プラン」の活用
- (4) 読書活動の推進

### 児童の実態

- ・国語に関すること(授業、音読、読書)への児童の意識が、良い方向へ変容しており、叙述や表現をもとに自分の考えをまとめることができるようになってきた。
- ・主体性、語い量、読書、漢字の読み書き、文章を読み取る力、聞く力、考えを書く力など、学級でも個人差が大きい。課題がある児童が約2割いるため、少人数指導の良さを生かした手立てが必要。